

第2次鴨川市学校適正規模検討委員会第6回会議の概要

前回会議の概要について

8月に5地区で実施された地区別意見交換会で地域の皆さんからいただいた意見について事務局から報告を行った。(資料1～6について説明)

この報告を受けて、第5回会議までに検討を行ってきた検討委員会としての候補案に地域の声を反映させ、答申案となる意見の取りまとめを以下のとおり行った。

議事(1) 江見地区の小学校適正配置及び幼保一元化について

江見地区の小学校適正配置については、第5回会議までに検討委員会の方向性として、「江見地区の小学校は、旧江見中学校施設を改修して3小学校を統合することが望ましい。」としていたところであり、事務局から報告のあった地区別意見交換会での意見を受け、統合に反対のない地区、反対意見もある地区それぞれの意見が交わされた。

また、江見地区に2つの小学校を設置する案についても意見が交わされたが、1つの小学校区を分断することや反対する1校だけを残しての統合を行った場合、子どもの教育環境にとって望ましくないという意見となった。

この結果、江見地区については「3小学校を統合してひとつにする。場所は旧江見中学校施設を活用して建設する」が答申案として取りまとめられた。

また、江見地区の幼保一元化についても意見の取りまとめが行われたが、旧江見中学校敷地内に一体型施設を新設する案について、特に反対意見はなく、同案が答申案として取りまとめられた。

議事(2) 天津小湊地区の小学校適正配置及び幼保一元化について

天津小湊地区の小学校適正配置については、第5回会議までに検討委員会の方向性として、「天津小湊地区の小学校は、天津小学校施設を活用して2小学校を統合することが望ましい。」としていたところである。

事務局からは、地区別意見交換会での意見や、小湊小学校保護者との意見交換会、小湊幼小PTAが実施した保護者アンケートの結果についての報告や、保護者との意見交換会で出された旧小湊中学校施設を改修する案について説明が行われ、さらに、小湊地区から小湊小学校存続を求める要請書が市長に提出されたことが報告された。

これらの報告等に対し、様々な意見が交わされたが、採決の結果、現状の児童数を勘案し小湊小学校は統合せずに存続するという意見が多数を占めた。

このため、天津小湊地区については「天津小学校、小湊小学校を当分の間存続させる。」が答申案として取りまとめられた。

また、幼保一元化については、天津地区の幼保一元化のみが対象となるが、天津保育園を天津幼稚園に移転し、天津幼稚園を天津小学校校舎内に移転することで検討委員会の意見は固まっており、地区別意見交換会でも反対意見はなかったことからこのまま答申に盛り込むこととされた。